

# 患者が医療を変える

医薬品に関するデータのスペシャリストだからこそ実現できる  
患者さんのための医療情報の活用

**The Medical Intelligence Provider**  
情報価値創造企業

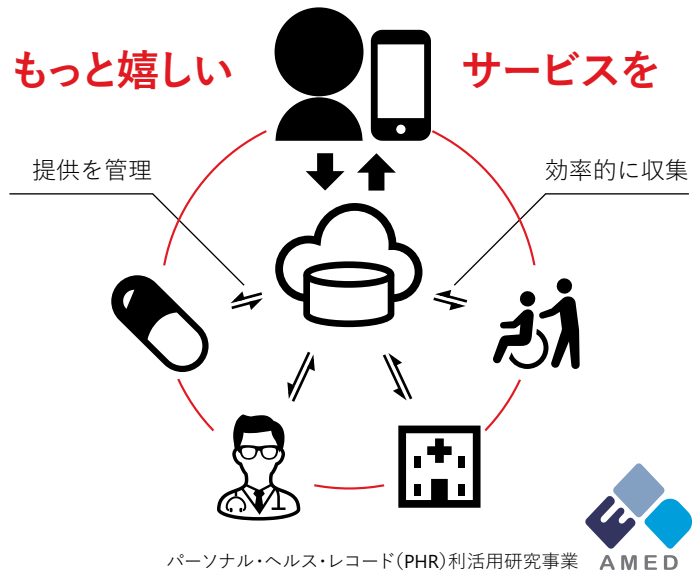


## 自分で選ぶ データ活用

個人が安全かつ効率的に収集したパーソナルデータを、自らの意思に基づいて事業者提供することで、よりニーズに合ったサービスを受けられる仕組みの構築を目指しています

AMEDの採択課題「臨床および臨床研究のための分散PDSの応用に関する研究」(東京大学大学院・橋田浩一教授)に参画し、アプリ・システムを開発しています

詳細はAMEDのWebサイトをご覧ください

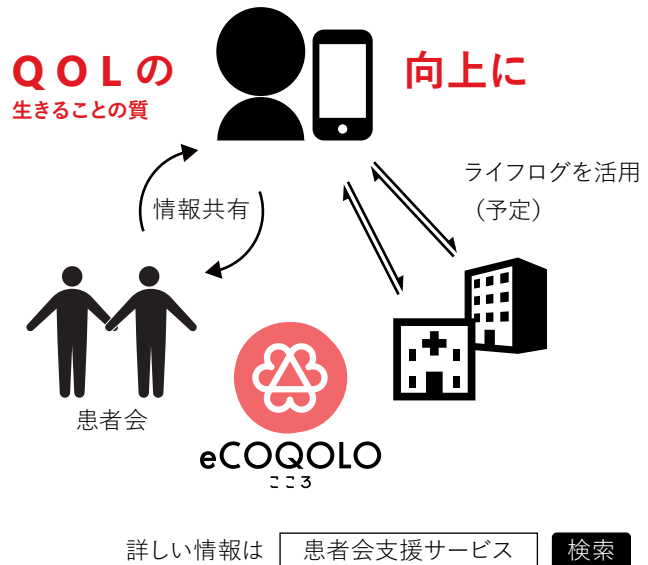


## 患者さんと 社会をつなぐ

難病・希少疾患などの治療が困難な患者さんが同じ仲間や社会とつながることで、患者さんやご家族のQOL(生きることの質)向上に貢献したいと考えています

現在、患者会の運営やコミュニケーションを支援するアプリ「eCOQOLO(こころ)」を用いたサービスを提供しています

今後は、患者さんが自らのライフログを管理する「マイログ」機能を追加する予定です

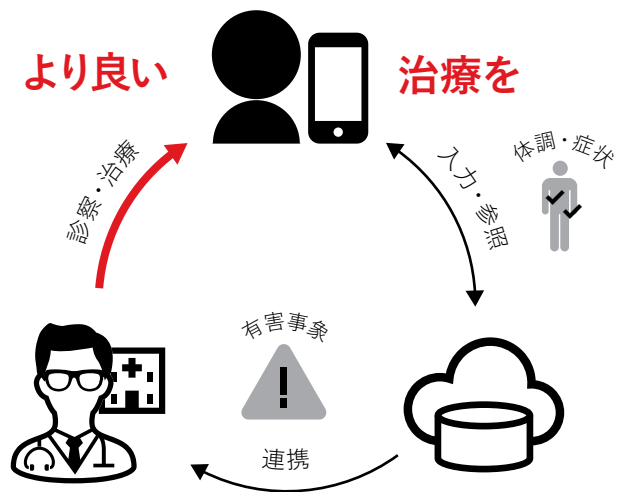


## 医師との 情報連携

患者さんが自らの体調・症状を入力・参照することで自己管理を実現し、さらに電子カルテに連携されたデータを医師がモニタリングすることで、より適切な診察・治療を実現する仕組みの構築を目指しています

現在、**京都大学との共同研究**で、ePRO\*アプリを開発しています

\*ePRO: 患者自身による自身の状態の主観的評価(PRO)のデータを電子的に取り扱う仕組み



京都大学共同研究  
「ePRO(Electronic Patient-Reported Outcomes)開発共同研究」